

街を  
考える。



山を  
考える。



子どもを  
考える。



環境を  
考える。



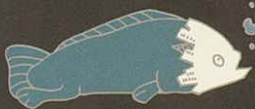
農業を  
考える。



食を  
考える。



アートを  
考える。



教育を  
考える。



# 一緒に、脳作業しましょう。

経済成長が、そのスピードを緩め、止まり、  
さらに下降線を急速に辿りはじめた今日、  
地域や社会、地球、  
そして私たちが抱える問題、課題が  
どっと表面化してきました。

悪化する地球環境、崩れる生態系、次々と姿を消す限界集落、  
少子高齢化社会の到来、二一トの増加、  
空洞化する中心市街地、食糧自給率の低下、

教育の問題など、挙げたら切りがありません。

これらの多くは、今までの社会、行政システムでは解決できません。  
一体、誰が解決していくのでしょうか。

NPOや市民活動団体がいくら頑張っても、限界があります。

地域や社会の問題を解決していく専門家、  
新しい起業家が必要です。

この「地域シゴトの学校」は、

そんなソーシャル・アントレプレナーの育成を目指した、

とてもユニークで中身の濃い学びとネットワークを広げる場です。

地域や社会の問題をビジネススキルで解決する

「社会起業家」を育てたい。

# 地域シゴトの学校



# 頭にガツンと一発! 毎回、目から鱗の連続。

知識を知恵化する。アイデアを企画化する。そして事業プランをプレゼンテーションする。問題を共有できる仲間が出来ることはハッピーです。

## 地域シゴトの学校 第5期 カリキュラム

日程	講座	講師
2009		
6/16(火)	開講式「まちづくりの視点・課題」	甲賀 雅章
23(火)	発想トレーニング	砂川 肇
27(土)	わたしのアイデアプレゼンテーション 「社会をチェンジするユニークな発想!」	
7/7(火)	実践者の視点「チャレンジが拓くICTビジネス」	竹中 ナミ
28(火)	実践者の視点「アーツで防災・まちづくり」	永田 宏和
8/4(火)	ワークショップ	
11(火)	実践者の視点 「社会貢献をボランティアから仕事に変える」	広石 拓司
22(土)	市政講座 / アイデアプレゼンテーション	
9/8(火)	実践者の視点「アートの社会的役割と効用」	芹沢 高志
13(日)	日帰り視察	
10/3(土)	実習「企画人間になろう!」	高橋 誠
6(火)	グループワーク 1	
17(土)	実習「意見集約と合意形成の手法」	山浦 晴男
20(火)	グループワーク 2	
11/10(火)	実践者の視点「食から考える地域活性」	菅原 昭彦
14(土)	実践者の視点「教育現場から日本を変える」	金子 郁容
17(火)	グループワーク 3	
28(土)	企画プランプレゼンテーション 地元実践者の視点「子ども達の表現活動をサポート」	久保田 翠
12/1(火)	グループワーク 4	
8(火)	グループワーク 5	
19(土)	プレゼンテーションテクニック / 中間プレゼンテーション	甲賀 雅章
2010		
1/12(火)	グループワーク 6	
19(火)	グループワーク 7	
30(土)	プレゼンテーションチェック	
2/2(火)	グループワーク 8	
9(火)	グループワーク 9	
13(土)	前日リハーサル	
14(日)	公開プレゼンテーション	
23(火)	ふりかえりセッション	

**開講期間** ■平成21年6月16日(火)～平成22年2月23日(火)  
 ・火曜日(18回) 19:00～21:00  
 ・土曜日(9回) 10:00～17:00  
 ・9月13日(日) 視察研修(バス日帰り)  
 ・2月14日(日) 公開プレゼンテーション  
 ※その他、講義外の自主グループ活動あり

**募集対象** ■静岡市在住または通勤・通学する人で、  
 ・まちや社会を変えるために、何か行動してみたい人  
 ・すでに行っている活動を進化、発展させたい人  
 ・新しいネットワークを構築したい人  
 ・とにかく刺激を受けたい人  
 ・全講義の8割以上、視察や講義外の自主活動にも参加できる人

**定員** ■30名程度(選考応募課題あり)  
**会場** ■アイセル21 葵生涯学習センター(葵区東草深町3-18)  
**受講料** ■15,000円

\* 受講料は、開講日に集めます。\* 別途教材費などが必要です。  
**応募課題** ■「社会をチェンジするユニークな発想!」  
 ●タイトル(事業プラン名)  
 ●あなたが解決していきたい地域や社会の問題・課題  
 ●その問題・課題を解決する事業・活動のアイデア  
 ●それによって期待できる効果  
 という風にまとめてください。  
 イラストや映像、詩等をつけて頂いても結構です。

**応募用紙** ■静岡市内の各生涯学習施設等にあります。  
 静岡市HPからも取り出せます。(下記)  
**申込方法** ■応募用紙に課題を添えて、生涯学習推進課へ、直接持参か郵送で提出。  
 インターネット申込みもできます。(地域シゴトの学校HPからどうぞ)  
**申込期限** ■5月25日(月)(必着)

**主催・問合せ先** 静岡市生涯学習推進課 事業担当  
 〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号 静岡庁舎 17階  
 TEL054-221-1207 FAX054-221-1758

# 第5期受講生募集中。 2009年6月16日(火)開講

## 学長のあいさつ

今私たちを取り巻く様々な社会的・経済的状況は、大きな変革の時を迎えております。その中で、より静岡らしい魅力あるまちづくりが更に求められています。「静岡が大好き、まちや社会を良くしたいという情熱を持ち、自ら行動を起こしていく。」地域シゴトの学校は、こうした活動を行うあなたを応援します。一緒に静岡を素敵に変えていきましょう。

地域シゴトの学校 学長 / 静岡市長 小嶋 善吉

**その道のプロから情報を得、スキルを学ぶ。実践者からヒントを得る。こんな豪華な講師陣には、滅多にお目に掛かれません。**



砂川 肇

アメリカのライフスタイル・産業ビジネス動向分析を行い、日本の動向と比較研究。多くのプロジェクトに参加し、その領域は企業戦略から未来予測、組織研究、地域通貨など多岐にわたっている。「シブヤ東大門市場成功の秘密」は「脱マスプロ方程式」を仮説した1冊。



竹中 ナミ

社会福祉法人プロップ・ステーション理事長。重症心身障害の長女を授かったことから、独学で障害児医療・福祉・教育を学ぶ。ICTを駆使してチャレンジ(障害を持つ人の可能性に着目した、新しい米語)の自立と社会参画、とりわけ就労の促進を支援する活動を続けている。ニックネーム「ナミねえ」で親しまれている超元気な関西人。



永田 宏和

1993年大阪大学大学院修了。2006年NPO法人プラス・アーツ設立。2005年ファミリーが楽しく防災を学ぶプログラム「イザ!カエルキャラバン!」を開発し、首都圏や新潟、宮崎など全国各地で展開。2008年からその活動は海をわたリインドネシアにも広がっている。武庫川女子短期大学非常勤講師。「第6回21世紀のまちづくり賞・社会活動賞」受賞。



広石 拓司

(株)エンパブリック 代表取締役 東京大学修士課程終了後、シンクタンクにて市民参加の社会デザインに取り組んだ後、01年よりNPO法人ETIC.に参画し、全国の社会起業家の育成に取組む。08年(株)エンパブリックを設立。ワークショップ、サークルから社会起業まで幅広い参加手法をサポートしている。NPO法人えがおつなげて理事、慶應義塾大学非常勤講師



芹沢 高志

1951年東京生まれ。1989年、P3 art and environment (www.p3.org/) を設立。「アサヒ・アート・フェスティバル」の事務局長(2002-)や「横浜トリエンナーレ2005」のキュレーターを務める。別府現代芸術フェスティバル2009「混浴温泉世界」総合ディレクター。著書に「月面からの眺め」(毎日新聞社)など。



高橋 誠

(株)創造開発研究所所長・日本教育大学院大学教授(研究科長)(学)昌平学園理事長・NPO日本青少年キャリア教育協会理事長・日本創造学会前会長 東京教育大心理卒、筑波大大学院等修了。産能短大専任講師を経て、1974年に創造性の研究と実践の創造開発研究所を創立。企業や行政に企業戦略、人事・教育戦略、新商品開発、市場戦略を指導。ネーミング開発は、BIG EGG、かもめ〜等。著書は「創造力事典」他多数。



山浦 晴男

71年川喜田研究所入社。KJ法の研究・普及に従事。91年情報工房設立、自ら開発した写真分析法やコスモス法、ロジスト(論理発想法)を通して、個人・組織・地域の計画立案支援、合意形成支援、人材育成を行っている。現在、情報工房代表、千葉大学大学院非常勤講師、東京農工大学大学院非常勤講師、東京医科歯科大学大学院非常勤講師。



菅原 昭彦

スローフード気仙沼理事長。1962年(昭和37年)生まれ。(株)男山本店代表取締役。NPO法人気仙沼まちづくりセンター常務理事、気仙沼市まちづくり協働推進委員会委員長。また、スローフード気仙沼の理事長、気仙沼商工会議所副会長として、持続可能な循環型地域社会の実現を目指して、「食」をテーマとした活動を展開し、その中心的役割を担っている。



金子 郁容

慶應義塾大学 政策・メディア研究科委員長/教授。慶應義塾大学工学部卒業。スタンフォード大学にてPh.D.を取得。ウィスコンシン大学准教授、一橋大学教授などを経て現職。99年から2002年まで、慶應義塾幼稚舎長兼任。専門は情報組織論・ネットワーク論・コミュニティ論。「ボランティア」「新版 コミュニティソリューション」(共著)ほか著書多数。近著に「日本で一番いい学校-地域連携のイノベーション-」



久保田 翠

1962年生まれ。静岡東高校から武蔵野美術大学建築科卒業。東京藝術大学大学院環境デザイン科修了。NPO法人クリエイティブサポートレッツ理事長、静岡大学農学部非常勤講師、高木滋生建築設計事務所取締役



甲賀 雅章

チーフコーディネーター  
 広告のコピーライター、アートディレクターを経て、建築、商品開発、企業の業態開発・BRAND構築、CI戦略、商店街の活性化などにおける、デザインプロデューサー、プランナーとして広範囲な活動を展開。大道芸ワールドカップIN静岡プロデューサー。